



## 5月の保健だより

令和3年4月30日

宮古島市立東保育所

病後児保育室（72-2089）

担当看護師 竹岡

新年度が始まり、1ヶ月が過ぎようとしています。大人も子どもも少し疲れが出る頃ではないでしょうか？

ゴールデンウィークを楽しく過ごした後、心身ともにちょっと不安定になることも。初めて集団生活に入ったお子さんは特に週末などはおうちでゆっくり過ごして下さいね。



### おたふくかぜ

流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスが原因でおこり、耳のつけ根から下あごにかけての部分が増れてきます。腫れるのは片側だけのこともあります、約半分の子は数日後に反対側も腫れます。

主に飛沫感染によってうつり、春から夏にかけて多く見られ、潜伏期は2～3週間です。最もかかりやすいのは、3～9歳の頃で、生後6ヶ月未満の赤ちゃんがかかることは比較的少ないようです。一度かかると免疫ができ、2度かかる事はありません。また、ウイルスに感染しても全く症状の出ないこともあります、この場合でも免疫ができます。

#### <症状>

- ・耳下腺の腫れ・・・耳たふからあごのラインに沿っての腫れが1週間から10日程続きます。
- ・発熱・・・・・・約80%におこり、1～3日間程度が多い。
- ・唾液腺の腫れ・・・約50%の人は、顎の下・顎と首の間にある唾液腺が増れて痛みを伴います。
- ・食欲低下・・・・・・耳下腺が増れて痛いため、食べ物が噛みにくい、飲みにくいなどの症状が出る場合があります。



#### <感染期間>

耳下腺が増れる3日前から、腫れだして4日目くらいまでが感染期間と考えられています。

#### <予防>

予防摂取が有効です。症状の発生を防ぐことはできませんが、症状を軽くすることは可能です。



登園の目安は、耳下腺の腫れが出現して5日を経過するまでで、全身状態が良ければ登園は可能です。  
登園の際は、意見書（医療機関記入）の提出が必要です。